

## 基本計画 3 漁業の振興

### 現状と課題

漁業を取り巻く環境は、近海の漁業資源の減少や魚価の低迷、漁業就労者の高齢化、後継者問題などにより、漁業経営は厳しい環境におかれています。

本市の漁業は、地先漁業における定置漁業、養殖漁業、磯漁業などが主体となり、サケやコンブをはじめ、イワシ、ホッキ貝、カキ、ワカメなどの多品種な水産物が水揚げされているところですが、「北斗市水産振興計画」（平成 26 年 3 月策定）に基づき、今後も、漁場環境の保全や水産資源の適正な管理を図るとともに、つくり育てる漁業をさらに進め、安定した漁業経営と漁業所得の向上に努めていく必要があります。

また、安全・安心な水産物の供給という消費者からのニーズに応えるため、水産物のブランド化を推進し、上磯郡漁協直営店の有効的な活用や水産物の消費及び販路の拡大を促進していく必要があります。

### ■漁業経営体等の推移

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
上磯支所 区域	経営体(戸)	58	60	50	50	50
	従事者数(人)	144	144	115	114	114
	漁船隻数(隻)	138	131	125	106	112
	生産量(t)	917	1,504	814	596	1,981
	生産額(百万円)	220	284	335	256	238
はまなす支所 区域	経営体(戸)	45	46	38	38	37
	従事者数(人)	96	85	86	85	84
	漁船隻数(隻)	131	124	114	90	84
	生産量(t)	550	710	811	656	604
	生産額(百万円)	252	299	409	328	293
合計	経営体(戸)	103	106	88	88	87
	従事者数(人)	240	229	201	199	198
	漁船隻数(隻)	269	255	239	196	196
	生産量(t)	1,467	2,214	1,625	1,252	2,585
	生産額(百万円)	472	583	744	584	531

(注)経営体・従事者・漁船隻数は 12 月末日現在。生産量・額は年度集計

「従事者数」とは、その年において漁業経営体の海上作業に従事した漁業者が最も多かったときの従事者数をいう。

### 成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値	
1	漁獲量・漁獲高の増加	漁獲量	2,585 t	2,877 t
		漁獲高	531 百万円	591 百万円
2	つくり育てる漁業の割合	22.4%		
3	新規漁業者の確保	13 名	23 名	

[成果指標の現状値・将来目標値について]

- 現状値は、上磯郡漁業協同組合水揚資料より。
- 現状値は、上磯郡漁業協同組合水揚資料の H28 全体漁獲高に対する割合。  
[つくり育てる漁業の対象魚種：ウニ、ホッキ、アワビ、コンブ、わかめ、カキ]
- 現状値は、平成 20 年度から平成 28 年度までの新規就漁者数。  
目標値は、北斗市まち・ひと・しごと創生総合戦略における K P I (年間 1 人)。

## 主要施策

## 1 漁業経営の安定化

- ① 就労作業の効率化や生産コスト縮減のため、資機材、機器の更新、整備を促進します。
- ② 漂着ごみ、雑海藻など、廃棄物の適正処理により漁場環境の保全に努めるとともに、森林の適切な管理等により、水産資源の生育環境の保全に努めます。
- ③ 水産物の水揚げや輸送など、漁業生産基盤の確立のため、関係機関と連携し、既存漁港の機能向上を推進します。

## 2 つくり育てる漁業の推進

- ① ITを活用した漁業管理方法の効果検証を実施しながら、養殖施設の更新、整備を進めるとともに、稚魚及び種苗放流等を推進します。
- ② 新規漁業への調査事業を実施し、前浜に適した栽培漁業を促進します。
- ③ 低・未利用資源の生息状況などの調査を進め、活用の可能性を研究するとともに、商品化のための取組を支援します。

## 3 水産物の消費と販路の拡大

- ① 広域漁協としてのスケールメリットを活用した販売体制の確立を促進するほか、直営店のより効果的なPRなどやインターネットを活用した直販事業を促進します。
- ② 北斗市沿岸で水揚げされる多品種の水産物のPRなど、地域ブランド化の推進による生産拡大と積極的な販路拡大による安定した販売を促進します。
- ③ 観光産業との連携により、地理的優位性や人材と資源を活かし、体験型観光の確立を進めます。
- ④ 低・未利用資源等の付加価値を高めるため、地域や関係団体とともに加工製品の研究・開発を促進します。

【関連主要施策】 P51 主要施策1 観光資源の充実及び周遊観光の推進 ②③

## 4 担い手の育成

- ① 若手漁業者の研修事業への参加や経営感覚を培うため異業種交流を促進し、担い手の育成に努めます。
- ② 新規就業者の確保のため、漁協との連携により体験・受入れ・就業に向けた体制、支援制度の充実に努めます。

## ■ 漁種別生産量・生産額の推移

上磯郡漁業協同組合水揚資料

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	漁獲量 (t)	漁獲高 (百万円)								
総数	1,467	472	2,214	583	1,625	744	1,252	584	2,585	531
魚類	1,153	319	1,897	438	1,321	585	773	395	2,232	368
いわし	423	24	894	62	98	8	42	7	1,428	25
さけ	316	153	701	236	891	400	439	242	297	186
ます	7	7	26	15	44	26	5	6	35	13
ひらめ・かれい類	67	54	93	58	92	65	81	51	64	47
そい・油子	17	9	17	8	14	8	22	10	15	8
いか	90	22	46	15	28	11	19	14	2	2
その他	233	50	120	44	154	67	165	65	391	87
貝類	129	73	110	67	84	66	96	97	76	73
カキ	-	-	-	-	-	-	1	5	1	10
ホッキ貝	63	17	55	14	47	13	56	16	45	13
あわび	2	6	1	5	1	7	3	9	1	5
うに	13	8	9	5	6	4	8	6	6	5
なまこ・ほや	20	27	20	28	15	33	12	51	9	32
その他	31	15	26	15	15	8	16	10	14	8
海藻及び加工品	185	80	208	78	220	93	383	92	277	90
養殖こんぶ	36	41	31	39	41	55	30	38	34	51
塩蔵コンブ	15	3	23	5	34	8	26	6	24	6
養殖わかめ	127	24	145	23	137	20	177	25	216	29
その他	7	12	8	11	8	10	150	23	3	4

(注1)各年度末日現在

(注2)カキの漁獲量は1個当たり20gで積算(剥き身重量)